

地域団体の連携で安心して暮らせる街に

ウ オークララーは、高齢者間の親睦と健康のため社協主催で開始。「初回の参加者は約60人。しかし、2回目で100人を超え、対応に苦慮していた時に協力してくれたのが民児協や『ささえりあ』でした」と同校区社会福祉協議会長の松本清紀さん。運営・広報・事務局等を分担し、現在は春秋の2回開催。11月22日に開かれた秋の部には145人が参加し、地域に欠かせない行事となっています。

他にも自治協や老人クラブなどの地域団体や福祉施設と連携し、「高齢者生活介護支援サポーター

10年後を見据えた地域ぐるみの体制づくり

画 図校区は江津湖など豊かな自然があり、交通や買い物物の利便性も高い。でも、何よりの魅力は「人」。私自身、他の地域から引越してきましたが、皆さんすんなり受け入れてくれた。温かい土地柄こそ校区の財産」と同校区民生委員・児童委員協議会長を務める丸山透さん。

人と人のつながりを大切にする画図校区では、特に高齢者を対象にしたさまざまな取り組みが行われています。2013年に始まった「江津湖ウオークララー」も、その一つです。

地域担当職員からひと言

画図校区の素晴らしいところは、課題を校区内の各団体に共有し、解決に向けて皆で取り組もうとする姿勢です。まちセンとしても、他の地域での先進的な事例を紹介するなどしながら、今後急速に進む高齢化に対して地域と一緒に取り組んでいきます。

東部まちづくりセンター
上坂恭士



景色と会話を楽しみながら散歩。江津湖の生き物や環境についてのミニ講話もあります

養成講座「画図健康クラブ」「ふれあいいきいきサロン」などにも取り組んでいる同校区。現在も宅地化が進み高齢化率は他校区に比べ低いものの、団塊の世代が多く住むため、今後、後期高齢者は市の平均を上回って、増加することが見込まれます。急速に進む高齢化を見据え、今から地域団体が連携し、高齢者の孤立を未然に防ぎ、地域でサポートしていくための体制づくりが進められています。

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひと つながる



熊本市まちづくりセンター通信 vol.12

熊本市内各校区で、まちづくりに関わり、地域の活性化のために頑張っている人たちを紹介します。



[写真右から]

画図校区民生委員・児童委員協議会 会長 丸山 透さん(71)

画図校区社会福祉協議会 会長 松本 清紀さん(76)

高齢者支援センター ささえりあ江津湖 中村 淳美さん(57)



「まち・ひと・つながる」の紙面への感想をはじめ、まちづくりに関するアイデア、相談など左記にお寄せください。

お問い合わせ

- 熊本市地域政策課 ☎096 (328) 2031 (月～金曜・8:30～17:15)
chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
- 東部まちづくりセンター ☎096 (367) 1949